

先端の創薬を通じて
人々の健康と
明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社
マスコットキャラクター
あすかちゃん



あすか製薬株式会社

第95期報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

証券コード 4514

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第95期（2014年4月1日から2015年3月31日）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

医薬品業界では、後発医薬品の使用促進等薬剤費抑制策が実施されるなか、企業間競争が一段と加速するなど、引き続き厳しい事業環境にありますが、当社グループは、このような環境に対応すべく3年間の中期経営計画「ASKA PLAN2015」に基づき、柔軟かつスピーディーな経営を展開しております。中計2年目にあたる当期間は、オーソライズド・ジェネリックカンデサルタンを日本で初めて他社に先行して発売するなど、当社の経営にとって非常に重要な年となりました。

今後も売上拡大を目指す一方で、原価低減や費用の圧縮に取り組み、収益体質の向上に努めてまいります。

今年、あすか製薬は発足10周年を迎えます。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2015年6月



代表取締役社長

山口 隆

目 次

株主の皆様へ	1	トピックス	7
営業の概況	2	会社概要	9
連結財務諸表	4	株式の概況	10
財務ハイライト（連結）	5		
主要製品	6		

当連結会計年度の業績は、売上高429億7百万円（前連結会計年度比8.6%増）、営業利益14億2千5百万円（前連結会計年度比99.1%増）、経常利益17億2千2百万円（前連結会計年度比67.0%増）、当期純利益11億9千3百万円（前連結会計年度比140.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①医薬品事業

当期間の売上高は、389億2千4百万円（前連結会計年度比9.3%増）、セグメント利益は33億2千7百万円（前連結会計年度比35.0%増）となりました。昨年9月の経皮吸収型鎮痛消炎剤セルタッチの販売終了およびセオリアファーマ株式会社との物流業務終了に伴う売上減に加え、前立腺肥大症・癌治療剤プロスタールや経口避妊剤アンジュ等の落ち込みがありました。同年9月に他社に先行して発売したオーソライズド・ジェネリックカンデサルタン、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リユープロレリンが売上増加に大きく貢献したほか、甲状腺ホルモン剤チラーヂンや緊急避妊剤ノルレボ、プロトンポンプ阻害剤ラベプラゾール等が堅調に推移しました。

②その他

その他事業として動物用医薬品、検査、医療機器、食品等を展開しております。動物用医薬品が主要な分野であり、主にアミノ酸等飼料添加物の売上が増加したことにより、売上高は39億8千2百万円（前

連結会計年度比2.0%増）、セグメント利益は1億8百万円（前連結会計年度比50.3%減）となりました。

研究開発面におきましては、臨床試験実施中の新薬の確実な開発の推進はもとより導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。

AKP-008（プロゲステロン腔用坐剤）は臨床試験を終了し、製造販売承認を申請しました。

当社がAlfa Wassermann S.p.A.（本社：イタリア）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結したL-105（肝性脳症治療剤：リファキシミン）は、フェーズⅡ／Ⅲ試験およびフェーズⅢ試験を実施中であります。また、本剤は希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されております。

当社がLaboratoire HRA Pharma,SA（本社：フランス）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結したCDB-2914（子宮筋腫治療剤：ウリプリスタール）は、フェーズⅡ試験を実施中であります。

生産面におきましては、製品の安定供給と品質確保を最重点とし、適正在庫の維持や出荷体制の強化等に努め、計画した水準を達成することができました。また、いわき工場の製剤ラインを増設し、新製品の生産開始に向けて生産能力の増強を図りました。



当社を取りまく環境は、薬価改定による利益率低下やジェネリック医薬品市場の競争激化等、非常に厳しいものがあります。そのような環境のなかで、当社は以下のような課題に的確に対応し、企業価値の維持・向上を図ってまいります。

①収益体質の向上

当社は、収益体質の向上に最優先で取り組みます。今後、売上拡大を目指す一方、生産能力増強のための設備投資負担の増加や新薬開発のステージアップに伴う研究開発等の費用の増加が予想されますが、委託品の内製化、新製品の生産による稼働率向上や多能工の育成等に取り組み、生産性を高め原価低減を進めるほか、諸経費の見直し等による費用の圧縮にも取り組んでまいります。

また、当社は、経営指標として売上高営業利益率、自己資本利益率（ROE）を株主価値向上のための指標として認識しており、これらの改善を図ることが当社の優先すべき課題と考えております。経営指標の目標数値につきましては、今年度に策定する新中期経営計画の中で検討してまいります。

②新薬・新製品の継続的な上市

開発中の新薬のステージアップを着実に進めると同時に、国内外を問わず他社との連携を強化し、有望な医薬品を導入することにも積極的に取り組むことで、新薬・新製品を継続的に上市し、従来以上にユーザーから求められるよう努めてまいります。

③強みを生かした事業領域の確立

甲状腺領域および産婦人科領域において確固たる地位を目指します。甲状腺領域におきましては、本年10月の中外製薬株式会社からの抗甲状腺剤の承継等により当領域のラインナップ強化を図ります。また、産婦人科領域におきましては、昨年12月に製造販売承認を申請したAKP-008（プロゲステロン腔用坐剤）をスケジュールどおり上市することで、一段の強化を図っていく所存です。

④オーソライズド・ジェネリックを柱にしたジェネリック事業の展開

医療従事者等への啓発活動を通じて、オーソライズド・ジェネリック市場の普及・定着を図ってまいります。

⑤内部統制の強化

子会社を含めた事業活動の適正性に対して社会的な指摘が高まっていることを認識し、その体制をさらに強化するとともに、従業員に対する教育・啓発を徹底し、適正かつ透明性の高い事業活動とリスク管理に努めてまいります。

当社は、これからも企業情報を積極的かつ公正に開示し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーとの対話を充実させるべくIR・広報活動を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2014年3月31日現在	当連結会計年度 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	26,115	32,190
現金及び預金	4,269	6,724
受取手形及び売掛金	7,442	8,483
有価証券	2,650	2,850
その他	11,752	14,131
固定資産	25,137	26,741
有形固定資産	12,400	13,103
無形固定資産	695	543
投資その他の資産	12,040	13,094
投資有価証券	7,220	9,244
その他	4,820	3,849
繰延資産	16	1
資産合計	51,269	58,933
負債の部		
流動負債	9,229	14,874
固定負債	8,098	7,481
負債合計	17,327	22,355
純資産の部		
株主資本	32,663	34,026
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	33,107	34,447
自己株式	△ 2,487	△ 2,464
その他の包括利益累計額	1,242	2,550
その他有価証券評価差額金	1,642	2,834
退職給付に係る調整累計額	△ 399	△ 283
少数株主持分	35	—
純資産合計	33,941	36,577
負債純資産合計	51,269	58,933

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

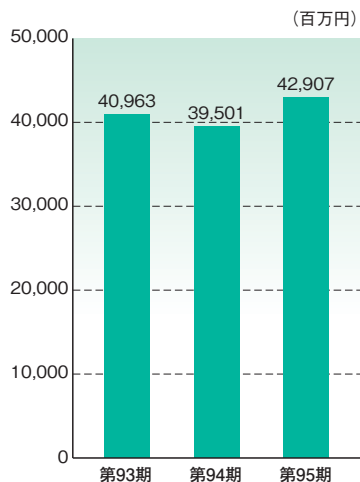
科目	前連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	当連結会計年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
売上高	39,501	42,907
売上原価	22,431	25,717
売上総利益	17,069	17,189
返品調整引当金繰入額	0	△ 3
差引売上総利益	17,069	17,193
販売費及び一般管理費	16,353	15,767
営業利益	716	1,425
営業外収益	442	446
営業外費用	127	149
経常利益	1,031	1,722
特別利益	—	58
特別損失	83	91
税金等調整前当期純利益	947	1,688
法人税、住民税及び事業税	184	692
法人税等調整額	237	△ 161
法人税等	421	530
少数株主損益調整前当期純利益	526	1,157
少数株主利益	30	△ 35
当期純利益	495	1,193

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

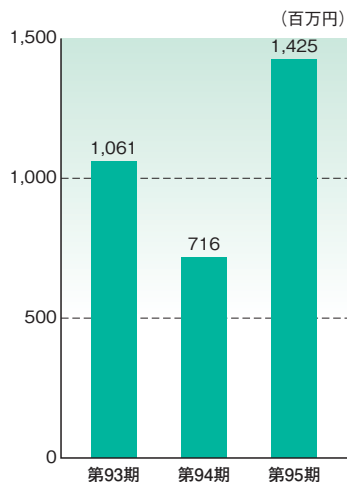
（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	当連結会計年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,616	5,710
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,301	△ 1,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 574	△ 557
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 259	3,255
現金及び現金同等物の期首残高	6,578	6,318
現金及び現金同等物の期末残高	6,318	9,574

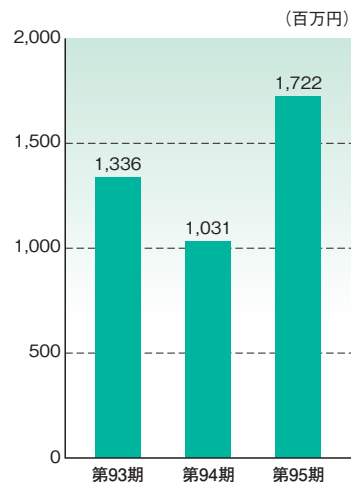
売上高



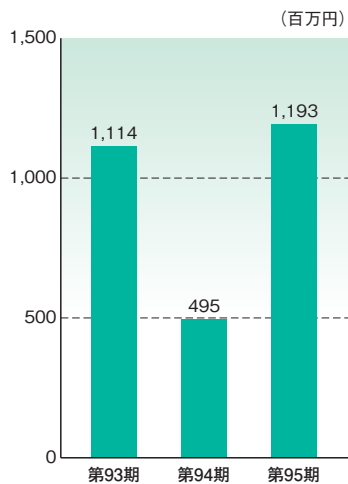
営業利益



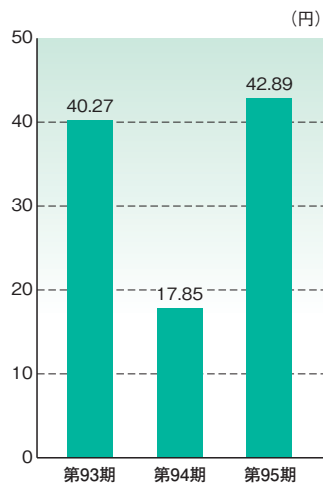
経常利益



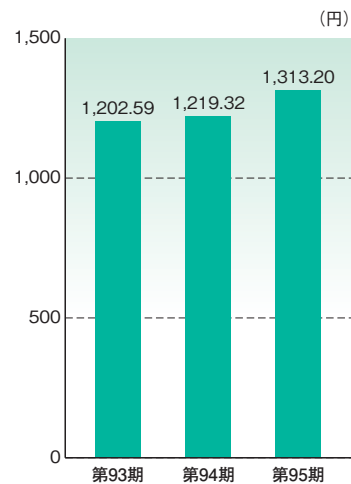
当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



(注) 当期末の自己資本比率は62.1%です。

●医療用医薬品



持続性アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤
カンデサルタン錠2mg・4mg・
8mg・12mg「あすか」



高脂血症治療剤
リビディル錠53.3mg・80mg



前立腺癌治療剤
ビカルタミド錠80mg「あすか」



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠12.5 μ g・25 μ g・
50 μ g・75 μ g・100 μ g



高血圧症・狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬
アムロジピンOD錠2.5mg・5mg「あすか」
アムロジピン錠2.5mg・5mg・10mg「あすか」



LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤
リュープロレリン酢酸塩注射用キット
1.88mg・3.75mg「あすか」



緊急避妊剤
ノルレボ錠0.75mg



プロトンポンプ阻害剤
ラベプラゾールNa錠
10mg・20mg「AA」



消化性潰瘍・胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5mg・75mg、
アルタット細粒20%



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスターL錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスターL錠50mg



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ

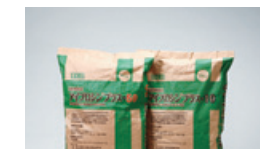
●動物用医薬品



注射用血清性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬慢性心不全用持続性ACE阻害剤
リズミナール錠
1mg・2.5mg・5mg



豚・鶏呼吸器疾患治療剤
アイブロシンプラス-10・
50



ヨウ素系殺菌消毒剤
ポリアップ16

◆ いわき工場第4製剤棟着工

いわき工場の生産能力向上を目指した第4製剤棟の建設は、高い安全性、グローバル品質の両立と将来にわたる長期的拡張を見据え、優れた機能性を持つことをテーマとして2015年2月に着工し、スケジュールどおり進捗しております。2016年2月に竣工、同年5月稼働開始の予定です。



完成予想図

◆ 研究拠点の統合

当社は、重点3領域（内科、産婦人科、泌尿器科）への研究開発資源の集中、業務の効率化、経費節減などを目的に、当初の予定より一年半前倒しの2014年10月1日に西東京事業所を閉鎖し、川崎事業所に研究拠点を統合しました。

今後は、研究開発機能を川崎事業所に集約し、統合効果を生かしながらスピードを重視した研究開発活動を実施してまいります。

◆ 抗甲状腺剤「メルカゾール」「プロパジール」を中外製薬から承継

当社は、中外製薬(株)が製造販売している抗甲状腺剤「メルカゾール」および同「プロパジール」に関し、同社と2015年4月3日に両剤の事業譲渡契約を締結しました。本契約に基づき、両剤の製造販売承認に係る権利は本年10月1日より中外製薬(株)から当社へ承継されます。

両剤は、抗甲状腺剤に分類される甲状腺機能亢進症に対する標準治療薬で、多くの患者さんの治療に貢献しております。

中外製薬(株)と当社は、両剤の円滑な販売移管に向けて協働するとともに、製品供給および医療ニーズに合った製品情報ならびに適正使用の推進に向けた活動を実施してまいります。

◆ 新製品発売 ～新しくラインナップに加わりました～



骨吸収抑制剤
ゾレドロン酸 点滴静注液 4mg/5mL「アクタビス」

◆ 当社子会社(株)あすか製薬メディカルが婦人科用剥離子「ユイノブラシ」を新発売

当社の子会社である(株)あすか製薬メディカルは、2015年5月22日に婦人科用剥離子「ユイノブラシ（製造販売元：ニプロ株式会社）」を発売いたしました。

「ユイノブラシ」は、子宮頸がん検診等で粘膜細胞組織採取に用いられる医療機器です。

近年、とくに若年層における子宮頸がん患者の増加に伴い、国を挙げてがん検診の受診が推進されています。「ユイノブラシ」の発売により、細胞診の精度向上に貢献し、患者さまのQOL（Quality of Life）向上はもちろんのこと、医療従事者の皆様にも安心してお使いいただけるよう努めてまいります。



◆ 研究開発の状況(2015年5月現在)

開発コード/領域・効能	内科 産婦人科 泌尿器科				
	Ph I	Ph II	Ph III	申請・承認	備考
AKP-007(消化管ホルモン分泌抑制剤) 内分泌・消化器領域				申請	自社技術による 付加価値製剤
L-105(リファキシミン) 肝性脳症			Ph II / III		
AKP-008(プロゲステロン腔用坐剤) 生殖補助医療における黄体補充				申請	自社開発
CDB-2914(ウリプリスタール) 子宮筋腫		Ph II			
AKP-501(rFSH) 不妊症	Ph I				
AKP-002(PDE9阻害剤) 前立腺肥大症に伴う排尿障害等		Ph II			

会社の概要			
社名	設立	あすか製薬株式会社	
		1929年6月28日	
		(創立1920年6月16日)	
資本金		11億9,790万円	
主な事業内容		医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入	
主な事業所		東京都港区芝浦二丁目5番1号	
本社	事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市）	
工場		いわき工場（福島県いわき市）	
支店		札幌支店、東北支店、東京支店、横浜支店、千葉・埼玉支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店	
従業員数		790名（3月31日現在）	

子会社			
会社名	資本金 百万円	当社の 議決権比率 %	主要な事業内容
㈱あすか製薬メディカル	200	100	臨床検査・試験業務・医療機器販売業務等の受託、医薬品原材料等の販売 健康食品等の販売 清掃・警備等の受託、保険代理店
あすかActavis製薬㈱	345	55	医薬品の開発、販売ならびに輸出入
あすかアニマルヘルス㈱	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物などの製造、販売ならびに輸出入

役員			
役員	代表取締役社長 全社統括	山口	隆
	専務取締役 社長補佐、管理本部長	丸尾	篤嗣
	取締役常務執行役員 マーケティング本部長、研究開発担当、信頼性保証担当	加藤	和彦
	取締役常務執行役員 営業統括	川原	真幸
	取締役 社外取締役	上田	栄治
	取締役 社外取締役	吉村	泰典
	監査役	小泉	直之
	監査役	大竹	充
	監査役 社外監査役	武田	裕二
	監査役 社外監査役	杉尾	健

執行役員	常務執行役員 特命事項担当 (あすかActavis製薬㈱取締役)	松葉	昌行
	常務執行役員 生産本部長	齋藤	守信
	常務執行役員 あすかActavis製薬㈱代表取締役社長 兼あすか製薬㈱営業本部流通推進担当	福井	雄一郎
	執行役員 経営企画担当	村上	誠
	執行役員 研究開発本部長	蓮見	幸市
	執行役員 特命事項担当	木村	孝一
	執行役員 特命事項担当 (㈱あすか製薬メディカル代表取締役社長)	熊野	郁雄
	執行役員 営業本部長	寺本	裕国

株式の状況

■発行済株式の総数	30,563,199株
■株主数	5,263名

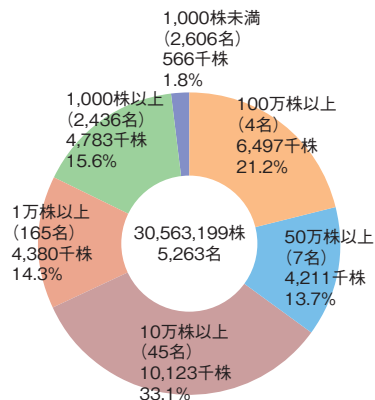
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,085	3.8
山口 隆	914	3.2
あすか製薬従業員持株会	673	2.3
株式会社ヤマグチ	556	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
日本生命保険相互会社	522	1.8
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	514	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7

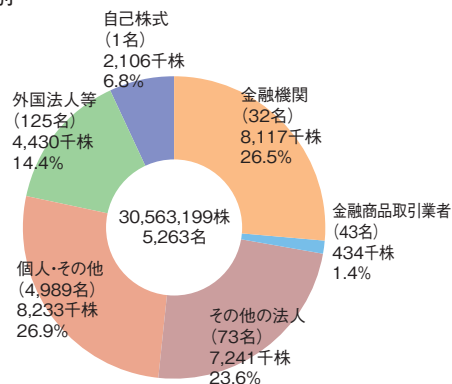
(注) 1. 当社は自己株式を2,106,434株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html
公 告 の 方 法	(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4514

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com

●株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料) http://www.tr.mufig.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。
特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内：少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



あすか製薬株式会社

本 社 〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03 (5484) 8361(代) FAX.03 (5484) 8351
<http://www.aska-pharma.co.jp/>

